

電気学会 電気規格調査会標準規格
JEC-2300-1998 正誤票 B-1
「交流遮断器」

注：JEC-2300-1998は再販(第2刷)時に、それまでにつくられた「正誤表」の内容が盛り込まれているため、AとBの2種類の正誤票を発行する。

正誤票A：1998年10月20日 第1版第1刷 の規格票に対する正誤票

正誤票B：2001年5月1日 第1版第2刷 の規格票に対する正誤票

発行日：2003年2月10日

正誤票B-1(2001年5月1日 第1版第2刷 の規格票に対する正誤表)

頁番	頁	箇所	誤	正
1	1	30～31行目	(13) 短絡電流遮断試験は1号,2号,3号,4号,5号とも、IEC 60056(1987)に沿った標準動作責務にて試験するよう改訂した。	(13) 短絡電流遮断試験は,1号,2号,3号,4号,5号ともIEC 60056(1987)に沿って試験するように改訂した。
2	63	12行目	試験の便宜上,開路の前の閉路は無負荷で実施は省略してもよい。	試験の便宜上,開路の前の閉路は無負荷で実施してもよい。
3	64	21～25行目	O - t ₁ - CO - t ₃ - CO または CO - t ₀ - CO または O - - CO - t ₁ - CO	O 3回 (標準動作責務A, Rに対して) または O 2回 (標準動作責務Bに対して)
4	94	20行目	O - t ₁ - C'O - t ₁ - C'O (C'は試験の……)	O - t ₁ - C'O - t ₃ - C'O (C'は試験の……)
5	94	25行目	O - t ₁ - C'O - t ₁ - C'O (C'は試験の……)	O - t ₁ - C'O - t ₃ - C'O (C'は試験の……)
6	95	13～16行目	O - t ₁ - C'O - t ₃ - C'O (C'は試験の……) または O および O' - - C'O - t ₁ - C'O (C'は試験の……)	O 3回とする。